

みまもって！ ナベヅル・マナヅル

ナベヅル、マナヅルは冬になると日本に渡って来る渡り鳥です。
かつては日本各地で越冬していましたが、乱獲や環境悪化により減少し、
現在は鹿児島県出水市その他、非常に限られた地域でしか越冬していません。
四国地方ではこれらのツルが定期的に飛来するため、
国や自治体、市民が協力して越冬地の復元・保全活動を進めています。

お願い 10月ー3月

飛来地での銃の使用に ご配慮ください

とても警戒心
が強いため、
銃声に驚いて
越冬をやめて
しまいます。



ツルを見かけたら むやみに近づかないでください

300m以上離れる



もしも近くでツルと出会ったら…

そのまま通りすぎてください。ツルを見ようとして車の
速度を落としたり、立ち止まったりしないでください。
犬に対して非常に警戒するので、飼い犬を放さないよう
にしてください。

ねぐらにしている 水辺に立入る際は ご配慮ください (夜間)

日の入1時間前～日の出1時間後は、河川
の中州や河口干潟、ため池等の浅瀬をねぐ
らとして利用しています。立入ったり車の
ヘッドライトを水辺へ向けたりしないよう
にご協力お願いします。



その他

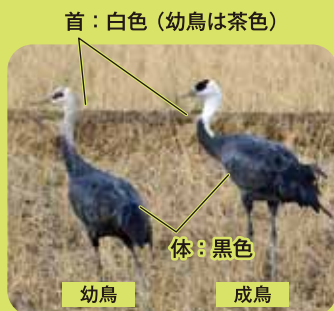
多くの人が集まるとツル
に影響がでるので、ツル
の詳細な生息場所の報道
やインターネットへの掲
載はご遠慮ください。



ナベヅル、マナヅルが よく見られる地域



※これらの地域以外にもツル類が飛来する場合があります。



ナベヅル



マナヅル

	ナベヅル	マナヅル
レッドリスト	絶滅危惧Ⅱ類 (環境省、IUCN)	
推定個体数	約 16,000 羽	約 6,000 羽
体長	約 100cm	約 127cm
分布	繁殖地: ロシア、中国、モンゴル 越冬地: 日本、韓国、中国	

※越冬地では、主に水田地域に渡来し、落ち穂や昆虫、小型の水生生物を食べる。

鹿児島県出水 (いずみ) 地方での保護活動により個体数は増加していますが、世界のナベヅルの約9割、マナヅルの約5割が出水に集中しているため、重篤な感染症が発生した場合に、種が絶滅してしまう恐れや出水での農業被害が問題となっています。